

釧路南ロータリークラブ会報

第19回 例会報告 2009.11.20 通算1325回

・点 鐘

工藤会長

・会 長 挨拶

・ロ - タリ - ソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 原田 真則会員



皆様こんにちは。先週の家庭集会参加報告では、色々とお話が出ました。特に会員増強についてですが、2年後に控えている南クラブの30周年に向けて、2年継続、会員増強プロジェクトチームを作っと思っています。次週はクラブフォーラムとなっております。是非検討して頂きたいと思います。これからの釧路南ロータリークラブの未来の為に頑張りましょう。

・お客様と来訪ロータリアンの紹介

釧路北ロータリークラブ 北川健二君



・幹 事 報 告 木内副幹事



・誕 生 祝

伊東 良孝会員 S 23. 11. 24 (61歳)

・結 婚 祝

花田 善廣会員 S 59. 11. 24 (25年目)

* GSE「研究グループ交換プログラム」チーム派遣団員募集依頼について葎本AGから2010年4月20日～5月19日インドネシア3400地区へ派遣するGSE団員4名のうち不足の女性2名の募集依頼文書が地区GSE委員名でありました。連絡先は当クラブの福井地区GSE委員へお願い致します。



・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

伊東 良孝会員 誕生祝として

花田 善廣会員 結婚祝として

出席委員会

会員 25 名 17 名出席 メイキャップ 1 名 72%

・福井会員（地区 G S E 委員）



派遣団員の条件、応募締切日、渡航費用等の詳細な説明がありました。

・本日のプログラム

「ロータリー財団月間に因んで」

担当 ロータリー財団委員会

安藤ロータリー財団委員長



ロータリー財団とは

組織および目的

国際ロータリー財団は、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられました。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となりました。ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従って、ロータリー財団委員会が慈善的、教育的目的のためにのみ運営するものとする。

ロータリー財団の使命

ロータリアンが、発展途上国の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団の標語

Doing good in the world 『世界でよいことをしよう』

財団のプログラム

教育的プログラム 人道的補助金プログラム
ポリオプラスプログラム

1) 教育的プログラム

国際親善奨学金プログラム

国際問題研究のためのロータリー・センタープログラム

大学教員のためのロータリー補助金プログラム

研究グループ交換 (G S E) プログラム (異文化における職業交流)

2) 人道的補助金プログラム

地区補助金プログラム

ボランティア奉仕活動補助金プログラム

マッチング・グラント (新興国への水事業等)

3-H 補助金プログラム (健康状態の改善、飢餓の救済、人間的・社会的向上の発展)

3) ポリオプラスプログラム

ポリオ撲滅プログラム (国際ロータリーの特別プログラム)

財団組織 8つの小委員会

1) 年次寄付委員会 (ポール・ハリス・フェロー 1000ドル認証) 毎年 100ドル

2) 恒久基金委員会 (ベネファクター 1000ドル・バッチと賞状)

3) ポリオ・プラス委員会 (毎年一人 1,000円拠出)

4) 補助金委員会 (国際レベルで行う地域振興や人道支援への補助)

5) 財団奨学委員会 (国際親善奨学金)

6) 世界平和フェロシップ委員会

7) 研究グループ交換委員会 (G S E 異なった文化と職業の交流の場を提供する)

8) 財団学友委員会 (ロータリー財団奨学生・G S E・大学教員等の補助金受領者で構成)

・次回のプログラム

11月27日(金)

「クラブフォーラム」夜間例会

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当: クラブ管理委員会

・点

鐘

工藤会長

今週の会報担当: 花田善廣会員